

# こんにちは 野々市市議会です



平成30年度予算等の議案を審議	…	2P
議案の議決結果一覧	…	4P
3月定例会一般質問10人が登壇	…	5P
諸報告	…	15P
議会組織変更のお知らせほか	…	16P





平成30年度 昨年の209.5億円に続く予算規模

# 当初一般会計予算総額 204億円を可決

個人市民税・固定資産税の税収増もあるが、財源不足の13.4億円を基金繰り入れで賄う。

平成30年第1回3月定例会を3月6日から23日までの18日間の日程で開会し、粟市長から提出された平成30年度一般会計予算をはじめ、野々市市部条例等の一部を改正する条例など市長提出議案28件を全員一致ないしは賛成多数でいずれも可決しました。

また、固定資産評価審査委員会委員の選任1件に同意しました。

歳入面では、昨年に引き続き人口増などに伴う税収の増加がある一方で、各交付金の減少があり、歳出増の不足分は昨年同様財政調整基金などからの繰り入れによる予算となっています。民生費関連では福祉関連費用の漸増に伴い歳出の約38%、77億5000万円余りを占めています。また教育費関連では約21億9000万円、そのうち館野小学校の大規模改修の2期工事やカレードの通年運営などにより約3億5000万円の増加となっています。土木費では約48億円、昨年度に比べ中央地区の事業進捗などに伴い約11億円の減少となりました。



## 議案を審議しました

### 予算決算常任委員会

3月15日(木)・16日(金)・19日(月)・20日(火)・22日(木)

**Q** 夏休みに小学生がプールに行く時ののっティ無料乗継券とカレード乗継券が混在すると子どもたちが混乱することになるが、対策は。

**A** 平成30年度は2つの乗継券が混在することのないように、地域公共交通協議会で協議し、改善したい。

**Q** ふるさと納税制度により29年度でおおむね2600万円の本来入るお金が出ていったのか。

**A** ふるさと納税の特例拡大により控除額は平成29年度で2616万9000円と前年から大体210%増であり、その分、住民税の課税分が減ることを危惧している。

**Q** 本市の都市計画税の税率は。同じ税率の自治体はあるのか。

**A** 県内では、野々市市と穴水町だけが税率0.15という水準で、他の県内市町においては税率0.30となっている。

**Q** 本市の財源不足や税収の落ち込み対策は。

**A** 既存市税の徴収率向上をはじめ企業版ふるさと納税などに取り組んでいる。身の丈に合った財政運営を行うためにも、行政の無駄というものをもう一度精査し、歳出抑制に取り組む。

#### 地域交流拠点施設整備事業

16億5,435万円

旧北国街道を舞台とした「野々市版コミュニティ・リビング」創出プロジェクト

地域振興課分 2,389万円

生涯学習課分 196万円

市民協働課分 260万円

**Q** コミュニティ・リビング創出プロジェクトに関連し、中央地区整備事業の民間商業施設の整備状況について。

**A** 施設の機能や運営内容は調整中であるが、新中央公民館の1階には観光物産協会と市民協働センターとが連携した事務所が入る。

また、隣接する民間商業施設内には、新たなビジネスをされたい方と、観光情報を発信する基地を設け、そこに市民の方々が集ってくるといった3つの要素を想定し折衝を進めている。

**Q** コミュニティ・リビング創出プロジェクト(地域振興課分) 約1,590万円

**Q** 中央地区整備事業の商業施設内に組み込まれるであろう

#### 観光案内所等の整備概要を示せ。

**A** 民間商業施設等に観光物産協会が借り受ける約150㎡の内装等の設計に約300万円を組み込んでいるが、商業施設自体が最終設計に至っていないので、現時点では概要等は示せない。



以前の外観パース

施設の外観パース



北国街道の賑りのイメージ写真

#### 人事

野々市市固定資産評価審査委員会委員

野崎 哲男(太平寺4丁目)

**Q** 本町4丁目交差点の駐車場整備で、大型バスの出入りはかなり危険を伴うことになるのではないか。その誘導対策は。

**A** 道路の設計や駐車場の出入りについては、大型バスの走行軌跡を考慮し設計していくことになる。

安全管理では、警備員を立てるとも今後考える必要がある。

#### 防災まちづくり事業

199万4,000円

**Q** 防災行政無線の野外拡声支局の移設について、その内容を伺う。

**A** 移設場所は柳町地内であり、移設理由は、現在設置されている柳町集会所の移設に伴うものである。

(仮称)御園小学校区放課後児童クラブ建設補助事業

7,877万円

**Q** (仮称)御園児童クラブは平成30年度に完成予定とのことであるが、現在の現在本町6丁目にある放課後児童クラブとの関係は。

**A** 新クラブ完成後は閉所する予定である。建設場所は稲荷2丁目地内を予定している。



現在の第1・第2・第3キノコクラブ(本町6丁目地内)

#### 部活動指導員配置事業(2名)

67万2,000円

**Q** どの学校でどの部活に、どんな業務形態で、いつ配置になるのか。

**A** 現在のところ、市内2校ある中学校に1名ずつ配置予定で、どの部活に入るかということは決まっていない。また、週当たり6時間程度を年間35週という形での配置を考えている。実施については、新年度に入りできるだけ早い実施をしたい。





岩見 博 議員

## 除雪計画を見直し、町会への除雪費用の補助額・補助率の引き上げを

### 仮称「30豪雪を検証する会」を開催して検討していきたい

**Q** 保育士の処遇改善は子ども・子育て支援法に基づく国、県、市の補助事業であり、市として、保育士の処遇改善が確実に行われているか賃金台帳等で確認する考えはないか。

**保育士の確実な処遇改善を賃金台帳等で確認する**

**A** 市長 ● 市民からの貴重なご意見を集約し、今後の除雪計画に反映できるように町内会代表者や関係機関を交えた、仮称「30豪雪を検証する会」を開催し、市民の生活に影響を及ぼさないように、道路除雪実施計画の見直しや雪害対応についてしっかりと検討してまいりたい。現状以上の支援拡充に向けても検討したい。

**Q** 除雪計画、小型除雪機購入補助要綱を見直し、①1次路線、2次路線についてはしっかりと除雪する。②2次路線の1次路線への見直し。③町会で除雪機を購入する場合の補助額・補助率を引き上げる。④町会が業者に頼んで除雪した場合の新たな補助を創設する考えはないか。

また、資格を有する方は年額12万4千円、経験年数が5年以上の方には年額24万8千円、経験年数が10年以上の方で事業所長の立場にある方には年額37万2千円を上限に補助をする。実施時期は、クラブからの補助金の実績報告を確認後になり、平成29年4月にさかのぼって適用する。30年度当初予算にも処遇改

**A** 健康福祉部長 ● 放課後児童の研修を修了または修了予定の方、経験年数や職に応じて補助基準額が設定をされており、31人が対象になる。

**Q** 29年度一般会計補正予算で放課後児童クラブ指導員の給与引き上げの予算が計上されているが、引き上げの対象要件、対象人数等、30年度以降の実施予定は。

**学童クラブ指導員の処遇改善29年4月にさかのぼって適用**

**A** 健康福祉部長 ● 各法人保育園が提出する補助金実績報告のときに賃金台帳など給与支払いの明細がわかるものの提出を求め、適切に各個人への処遇改善が行われることを確認したい。

**4月から運転免許証自主返納者への支援拡充**

善に必要な費用を計上している。

**Q** 新年度予算に自動車運転免許証自主返納者への支援拡充予算が計上されているが、内容は。

**A** 市長 ● コミュニティバス「のっぴー」とシャトルバス「のんきー」の共通回数乗車券5千円分に加え、北陸鉄道のICA（アイカ）3千円分、JR西日本のICA（イコカ）2千円分、計1万円分を支援したいと考えている。



JR 野々市駅改札口の IC カード読み取り機



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://goo.gl/4eyhbK>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

## 議決結果一覧

平成 30 年 3 月定例会

○=賛成、×=反対 ※議長（早川 彰一）は採決に加わりません。

	議 案 名	議 決 日	議 決 結 果	五十川員申	北村大助	馬場弘勝	安原透	宮前一夫	西本政之	中村義彦	杉林敏	金村哲夫	辻信行	早川彰一	尾西雅代	土田友雄	大東和美	岩見博
議案第1号	平成 29 年度野々市市一般会計補正予算（第5号）について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第2号	平成 29 年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第3号	平成 29 年度野々市市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第4号	平成 30 年度野々市市一般会計予算について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第5号	平成 30 年度野々市市国民健康保険特別会計予算について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第6号	平成 30 年度野々市市後期高齢者医療特別会計予算について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第7号	平成 30 年度野々市市介護保険特別会計予算について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第8号	平成 30 年度野々市市水道事業会計予算について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第9号	平成 30 年度野々市市公共下水道事業会計予算について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第10号	野々市市市制条例等の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第11号	野々市市職員定数条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第12号	野々市市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第13号	野々市市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の特則に関する条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第14号	野々市市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第15号	野々市市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第16号	野々市市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第17号	野々市市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第18号	野々市市介護保険条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第19号	野々市市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第20号	野々市市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第21号	野々市市中小企業振興基本条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第22号	野々市市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第23号	野々市市建築関係手数料条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第24号	野々市市都市公園条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第25号	野々市市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第26号	野々市市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第27号	野々市市地域包括支援センター条例を廃止する条例について	3月23日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
議案第28号	野々市市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	3月6日	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○





宮前 一夫 議員

## 子ども食堂開設を後ろ押しする 「子ども食堂版 開設支援講座」を開催せよ

まずは県内での様々な子ども食堂などに関する  
イベントの情報を発信していきたいと考えている

**Q** 本市における子どもの貧困対策について

**A** 先般会派視察を行ってきた品川区では区内の子ども食堂のネットワーク化を行っていたが、その大前提として、区内における世帯把握をしっかりとしたアンケート集計、分析をもとに行っており、そのうえで各年代の子どもに行政として何をなすべきかを踏まえたうえで様々な子どもへの施策を実行されていた。本市での対応を問う。

**市長** ● 野々市市子ども・子育て支援事業計画を平成27年3月に策定し、経済的支援としては、児童手当を初め、ひとり親家庭に対する児童扶養手当、中学生までを対象とした医療費助成、学用品費、給食費等の就学援助費の支給などの支援を行っている。また、国の子ども貧困対策事業を受けて、平成28年度から生活保護世帯の子どもに対し学習教室を33回開催、延べ109人の参加があった。このおかげで、志望する高校に合格できたといったうれしい話も聞いている。その他、ひとり親家庭の小学生に対しては学習だけではなく、親子フッキング教室もあわせて

**Q** 市内の子どもの食事の実態を示せ

**A** 核家族世帯、単世帯が約9割を占める野々市市の現状。市が把握している子どもの食事の形態についてどう考えているか問う。

**市長** ● 小学生と中学生2年生を対象とした平成29年度体力・運動能力調査によると、本市ではいずれの学年でも夕食を食べていない子どもはいないが、朝食については「食べない」が小学5年生で約0.4%、中学2年生で約1.8%となっている。朝食を食べない本市の小学5年生の割合は、全国、石川県平均より少ないが、中学2



学校給食センターの  
小学生向けの給食



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://goo.gl/C3ZoGo>

一般質問のページは、各議員の  
文責により編集されています。



杉林 敏 議員

## 「企業版ふるさと納税」の実績と 今後の自主財源の確保策を示せ

「ガバメントクラウドファンディング」を地域資源発掘  
や発信に活用できないか平成30年度に検討したい

**Q** 企業版ふるさと納税について

**A** 野々市市が実施している「企業版ふるさと納税」のこれまでの寄付金額の実績、今後の見込みについて問う。

**市長** ● 「学びの杜のいちカレード」を拠点として、豊富な図書館資料と市民学習センターの機能を活かした「賑わい創出による創業マインドの育成プロジェクト」の財源を募るため、平成29年度から平成31年度までの3か年計画の事業で実施している。現時点で71の企業から寄附金の申し出があり、今後の寄附金額は、平成29年度が1,400万円、平成30年度が800万円、平成31年度が800万円を見込んでいる。

**Q** 寄附金がどのような事業に使われているのか問う。

**市長** ● 創業に関心のある方のための創業塾、女性・若年層向けの創業ビジネスセミナーの開催、創業に役立つ図書を集めたコーナーの設置など、「学びの杜のいちカレード」で実施する創業に関する事業や蔵書の充実に活用している。

**Q** 自主財源の確保策について

**A** 今、国が地方創生を進める流れの中で、各自治体が自主財源を確保する必要があると思うが、野々市市では「企業版ふるさと納税」以外に自主財源を確保する手段として、何か検討しているのか問う。

**市長** ● 自主財源の根幹をなす市税について、コンビニエンスストアやクレジットカードによる決済で納付できるサービスを昨年4月からスタートさせるなど、納付環境の向上や収納体制の強化によって徴収率を上げることに取り組んでいる。

**Q** 総務省は全国自治体に「ふるさと納税」の集め方として、自治体が具体的な事業を示してインターネット上で出資を募る「クラウドファンディング」の普及や自治体の優良事例などを提示し、ふるさと納税の効果的な活用を後押しする方針を示しているが、総務省が普及を目指している「ガバメントクラウドファンディング」による検討を行う可能性はあるのか問う。

**市長** ● 「ガバメントクラウドファンディング」については



創業セミナー（カレードにて）

総合計画の後期基本計画の中で積極的に取り組む事業として掲げており、平成30年度は、野々市市の地域資源の発掘や発信の出資金を募るため、活用できないか検討したいと考えている。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://goo.gl/zgBMfo>

一般質問のページは、各議員の  
文責により編集されています。



## 野々市市体育施設整備基本計画の 進捗具合を伺う

現在、施設更新や統廃合などを検討する会議を  
設けて、施設別カルテ作成準備を進めている

**Q** スポーツ施設整備の方針に  
総合スポーツゾーンの形成  
で「陸上・サッカー競技場」と仮称  
「新スポーツ交流館」の施設整備を  
検討すると明記してある。検討の進  
捗を伺う。

文化部で取り組んでいく。

**スポーツ施設整備の方針に  
総合スポーツゾーンの形成**

**署が責任を持って進めていくのか。**

**A 教育長** ●本計画は、中央公園及びその西側に拡張を予定している公園区域における体育施設の整備のあり方や、老朽化著しい本市の体育施設の長寿命化修繕や改修のあり方について、検討し、市全域を対象とした体育施設整備の基本計画案を策定することを目的とし、教育委員会が取りまとめたものです。今後、関係各部と協議しながら教育文化部で取り組んでいく。

**Q** 平成27年10月に策定された本計画の目的と背景について改めて説明を伺う。また、この部署が責任を持って進めていくのか。

**A** **教育長** ●本計画は、中央公園及びその西側に拡張を予定

本市体育施設整備基本計画について

●(仮称) 新・スポーツ交流館の概要

子どもから高齢者まで幅広い年齢層が、身近な交流、グループ等のレクリエーション・スポーツ活動の場として整備し、交流の中心の機能を果たします。

親睦会を促進し、親睦会の中心機関としての役割を担い、市内グループや交流連(会や連誼会)、弓道連、クライミング協会の等々、各会連としての体育館等の整備を検討します。

また、健康、体力づくりの場としてスポーツ活動の情報発信を図るコミュニティ機能を導入します。さらに、さまざまな多様な災害に備える機能を導入し、防災機能の強化を図ります。

(仮称) 新・スポーツ交流館のイメージ

●新スポーツ機能の維持・強化

国内プール  
新体育館  
武道館  
クラウドファンディング  
地域交流センター

新・スポーツ交流館 (仮称)

●①コミュニティ機能の導入  
健康、体力づくりの場としてスポーツ活動の  
情報発信を図るコミュニティ機能を導入し  
ます。

防災機能強化  
災害時避難センター (仮称) 防災交流センター

●②市民参加型サービス  
市民参加型サービスとして設備  
を整備します。  
・市民参加型サービスとして  
・市民参加型サービスとして  
・市民参加型サービスとして  
・市民参加型サービスとして

市体育施設再編イメージ

総合スポーツゾーンの形成

地上・地下の活用

(仮称)  
**新・スポーツ交流館**  
 (新体育館、武道館、弓道場、相撲場等)

市民体育館  
市民交流館

中央公園  
運動広場

スポーツランド

きゅんが  
ホール

スポーツ  
センター

野井中央公園  
運動広場

緑蔭広場

野々市市体育施設整備基本計画  
平成27年10月 野々市市教育委員会

り方について検討したい。その際、新たな施設を作る場合は、防災機能を備えたものにする必要がある。現在、市役所内部に施設更新や統廃合などを検討する会議を設けて、施設別力ルテ作成準備を進めている。今後、施設別力ルテに基づき、客観的評価を行い、更新や統廃合・長寿命化等について検討を進めたい。

野々市市中小企業振興基本  
条例の一部を改正する条例  
について

**Q** 本条例改正の狙いはなにか。  
また今後どのような個別施策を検討しているのか。

**A** 市長 ●平成20年に県内に先  
駆けて制定し、様々な支援を

企業の取り巻く環境は、依然として厳しく、特に小規模企業にとっては、経営者の高齢化・販路開拓の取組不足・人材不足など課題になっている。こうした声に応えるため、今回、小規模企業の支援に焦点を当てた改正をするものです。

具体的には、新たな施策として、「小規模事業者販路開拓等支援事業」、「創業者広報活動支援事業」などを実施してまいります。なお、今般、国が平成30年度税制改正に盛り込んでいる中小企業の設備投資に係る固定資産税について、3年間限定で全額免除する「固定資産税特例制度」に積極的に取り組んでまいります。


※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://goo.gl/6bT7RW>



一般質問のページは、各議員の  
文責により編集されています。

**雪害に対する共助の取り組みへの  
支援として、本市の今後の有効な対策は？**

除雪機購入の助成見直しや、委託した除雪費の支援などについて、30豪雪を検証する会で検討したい。

 北陸を襲った記録的な寒波による大雪を踏まえて、市民の共助の取り組み・助け合いが大変重要であることが、今回改めて認識された。今後の本市除雪への取り組み方について、市民協働の取り組みの観点から共助の取り組みへの支援として、本市の今後の有効な対策を伺う。

市民生活を円滑に継続するために

**A** 市長 ● 今回の大雪では、市は幹線道路の確保と公共交通

の運行を優先に除雪を行ったが、絶え間ない降雪により生活道路の除雪

に至るまでは多くの時間を要した。そのような状況の中で、各町内会や各事業者がお隣に声をかけ合うなど、住民同士が助け合いながら除雪に当たっていただいた。市民の皆様には、改めて感謝を申し上げます。市民への除雪における共助の支援としては、町内会に向けての除雪機購入の助成見直しや、あるいは町内会が独自に委託した除雪費の支援などについても、30豪雪を検証する会の中でしっかりと検討していきたいと考えている。

**Q** 本市が大きな災害に被災したときには、各町内会の自主

防災組織の組織力が、本市の速やかな復旧復興に、大きく影響すると考える。自主防災組織は54町内会中、現在51町内会で結成されていると伺っている。自分の身は自分で守る、災害が起きてでも避難所に頼らなくてもよい備えをしておく等、普段から自助・共助に対する意識が大変大切である。防災士の養成とともに、各自主防災隊長のレベルをより高め、強化していくような育成が必要と考える。第一次総合計画中間見直し、及び地域防災力の強化の観点から、粟市長の見解を伺う。

本市防災力の強化について

**A** **市長** ●各町内会の自主防災組織活動については、本市の

総合防災訓練への参加を初め、自主的に実施をされている防災訓練や研修会などその活動は年々充実をしてきていると感じている。そしてさらに活発にするため、本市では自主防災組織への支援として防災士の育成や防災士の資格取得後のスキルアップ研修などを開催し、地域でのリーダーの養成についてバックアップし



## 雪害除雪

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://goo.gl/7fQAqj>



一般質問のページは、各議員の  
文責により編集されています。





西本 政之 議員

## 公立学校の看護師の配置を拡充せよ

### 一週間当たり二日の配置に拡充する予定である

**Q** 公立学校の看護師配置の拡充について

**A** 平成28年度9月補正予算に看護師の人員費が計上された。週に1日程度の配置ではあったが、大きな前進だった。本市の医療的ケアが必要な児童が今春、中学校に進学する。中学生となると、保護者には、これまで以上の負担がかかることが予想される。本来なら、看護師が常駐して保護者の付き添いが必要ではない環境でなければならぬと思うが、せめて週に3日程度の配置に拡充できないか。

**市長** ●現在、一週当たり1日、加えて学校行事があるときには年間30時間の医療的ケアができるようにしている。平成30年度は一週当たり2日、加えて学校行事があるときは年間56時間の医療的ケアができるよう、看護師の配置を拡充して配置する。今後対象となる子どもが安心して学校生活を送り、保護者の負担軽減が図られるよう努めている。

**Q** 公立学校の看護師配置の拡充について

**A** 平成30年度当初からできるだけ速やかに進めていけるよう準備をしている。リフレッシュウィーク期間中は会議や研修は実施しないこと、学校閉庁日に部活動は実施しないこととし、徹底したい。

**Q** 教育委員会が取り組むこととして、①会議の整理・縮減、②調査・照会の整理・統合と報告書の簡略化・電子化、③学校訪問の回数・内容の見直し、④研究指定校数の縮減、⑤地域と学校の連携・協働体制づくり、の五項目がある。具体的な取組みを伺う。

**教育長** ●既に学校に周知し、平成三十年度当初からできるだけ速やかに進めていけるよう準備をしている。リフレッシュウィーク期間中は会議や研修は実施しないこと、学校閉庁日に部活動は実施しないこととし、徹底したい。

**Q** 石川県教職員多忙化改善推進協議会の取組方針について

**A** 全県で一斉に取組むこととして、①月一回の定時退校日の設定、②学校ごとに最終退校時刻を設定、③学校評価の重点評価項目に働き方に関する視点を盛り込む、④旧盆中心の一週間を県内一斉リフレッシュウィークに設定し、連続する三日間の学校閉庁日を設定、⑤保護者や地域へ理解と協力を求める、の五項目がある。実行の時期や方針などの見解を伺う。

**教育長** ●会議の整理・縮減については、平成29年度の教職員講座数を前年の7割程度に精選した。平成30年度はさらに精選し学校の負担軽減を図りたい。調査・照会の整理・統合については、業務量の削減に関する目標を立て進めていきたい。学校訪問の回数は、これまでの年二回から原則一回に減らす予定である。研究指定校数の縮減については、県の研究指定の三校のうち、一校の研究指定を市の指定と兼ねること、実質的な縮減を図りたい。地域と学校の連携については、現在の学校の取組みを引き続き支援していきたい。

**Q** 部活動指導における取組について

**A** 部活動指導員を積極的に配置し、効果や課題を検証した上で順次、配置拡大を進める、の二項目である。どのようなスピード感で取組むか伺う。

**教育長** ●国のガイドラインや県の方針に基づき、速やかに市の教育委員会の方針を定め、実行に移せるものから順次実施していきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://goo.gl/QUaqqK>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



馬場 弘勝 議員

## 地域中心交流拠点施設に計画している民間商業施設の入居予定者は

### 本市観光物産協会と飲食・物販業のテナント企業を予定している

**Q** 地域中心交流拠点施設

**A** 平成31年4月に開館する予定の地域中心交流拠点施設の特徴は。

**市長** ●歴史的な街並みが残る地域に、本市の名称の由来でもある「市」が栄えたように、ヒト、モノが出会い、交流し、地域の魅力を発信する舞台となることを目的としている。各種講座の開催やサークル活動、コミュニティの拠点である中央公民館と近接する金沢工業大学の学生など、多様な人々たちによる交流や協働活動を生み出す市民活動センターの機能に加え、観光物産の振興に寄与する商業施設が一体となった学び、交流、魅力発信の施設とする。

**Q** 別棟として計画されている民間商業施設の内容と、入居予定の企業や団体の業種は。

**市長** ●鉄骨造、平屋建て、延床面積約300平方メートルとし、入居者は本市観光物産協会と飲食・物販業のテナント企業を予定している。関心を示している企業がいくつかあり、様々な観点から事業者とともに慎重に協議、検討している。

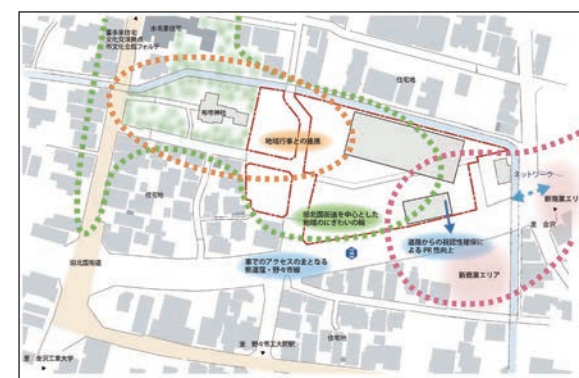
**Q** 野々市版コミュニティリビング創出プロジェクト

**A** ソフト事業であるコミュニティリビング創出プロジェクトは、ソフトの概念と具体的な事業内容は。

**市長** ●地方創生推進交付金を活用し、野々市中央地区に整備する2つの拠点と、旧北国街道に新たな賑わいを創出する本市の創生プロジェクトである。旧北国街道周辺で何か楽しそうなことをやっているなど思っていたできるように、自宅のリビングのように気軽に集い、新たなコミュニティと賑わいづくりへとつながりたいという思いから、「コミュニティリビング」という名称とした。具体的には、事業の企画運営に携わる市民を公募し養成する講座の開催、野々市ブランド商品の認定制度の構築、地場産品の買い物ができるマルシェや旧北国街道を活用したイベントの定期的な開催を計画している。

**Q** まちづくりと連携した駐車場整備

**A** 野々市本町交差点の角に位置する駐車場用地に関して、



コミュニティ・リビング ゾーニングイメージ

サウンディング型市場調査を実施し、公募によって民間事業者から広く意見や提案を求め、地区内の近隣駐車場との連携も含め、対話を通じて市場性を把握すべきではないか。

**市長** ●まずは、暫定の駐車場整備を行う。今後は、地域全体としての土地利用のあり方を検討する必要があると考えており、野々市中央地区の各施設の利用状況、各種調査を踏まえて、賑わいの創出に寄与する施設整備の検討をしたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://goo.gl/d8nDds>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。





五十川 員申 議員

## 雪害用タイムラインを策定せよ

### 道路除雪実施計画も一種の簡易的タイムライン、30豪雪を検証する会で検証見直しをする

#### 雪害対策の見直しを図れ

**Q** 本市の雪害への対処を伺うと場当たり的とも取れるのですが、こういう状況になれば、こういう行動を起こすというものが、既にマニュアルであるのか、それとも来たタイミングで対策室にいる人たちが議論をしてどういった行動をとるのかといったように活動してきたのか教えてください。

**A 産業建設部長** ● 気象情報を収集しまして、金沢地方気象台から翌朝までの降雪予想が出ます。その予想に応じて1次路線、歩道除雪、2次路線等々を、毎日夕方5時ごろまでに決定して除雪体制を整えております。

画一的なフォーマットを持って災害に取り組まれているようには感じられない。ただ、現状発災4日前から、情報収集の体制や準備も含め活動を始めているのは素晴らしい。ある程度事前に決めたフォーマットに則ってやることで、災害後に今回の対応が良かったのか、それともどこが悪かったのかを振り返ることができ、PDCAを回せる事でノウハウを蓄積していくことができる。

**Q** 雪害用のタイムラインを作っているのか？

**A 産業建設部長** ● 防災行動をまとめた防災行動計画、いわゆるタイムラインに関しては、これまで提案されてきたところであります。既に水害に関するタイムラインについては平成28年に作成しておりますが、雪害に対しては、現状の道路除雪実施計画の中に、降雪状況や注意報、警報の発令に応じて、平常体制から緊急体制に至るまでの職務行動について定めてあるので、これも一種の簡易的タイムラインと認識している。今回もこれに応じて除雪対応を行なったと認識しているが、今回の経験を踏まえ、いつ、誰が、どのように、何をするかといったことや改善の必要に応じて町内会代表者や関係機関を交えた30豪雪を検証する会の中で検討して参りたいと考えている。

**Q** 地域の除雪に対応する事業者不足が起きている。数年に一度の雪害の為に十分な担い手の確保や機材の調達メンテナンスを行うことは難しい。平成23年に国土交通省が地域維持型契約方式というものをしているが、これは単年度ではなく複数年にまたがり道路工事、除

雪、除草、維持補修などを鑑みながら単年度ではなく複数年度で契約を結ぶというものです。これを行うことで、除雪費用も含め予算の平準化を行うこともでき、業者にかかる負担も軽減できると考えるが導入としてはどうか？（契約時には、PFI事業のように複数企業で地域維持型建設共同企業体を作る必要がある。これは、これまでPFI事業を行なってきた地域企業を軸とした企業体、地域維持型契約方式は地域企業と共に地域企業を軸とした企業体の作り方を学べる機会にもなる）



**A 産業建設部長** ● 除雪作業のみならず、営繕、修繕等も含めまして地域維持型契約方式でできるかどうかを今後調査しながら検討して参りたいと思います。

雪害用タイムライン、地域維持型契約に関しても先行事例はある



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://goo.gl/TfFwGV>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



大東 和美 議員

## 石川で産後ケアセンターなど母子ともに保護できる施設の創設を

平成29年4月、母子保健法の一部が改正され、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」を平成32年度末までに各市町が設置するよう努めることになりました

**Q** 市内の空き家や市営住宅を活用し、産後ケアセンターとしてはどうか。また、助産師等の不足により、本市のみで対応が困難であれば石川中央都市圏において、取り組むべき課題として本市から提案してはどうか伺う。

**A 市長** ● 産後ケア事業を充実していく上では、保健師や助産師等の人材の育成確保やサービスを提供するための確保など、石川中央都市圏の連携事業として実施した方がより効果的・効率的な事業もあり、今後検討したい。

#### 大雪経験を防災意識高揚のきっかけにせよ



**Q** 今回の雪害対応及び今後の対策について

**A 産業建設部長** ● 2月6日の早朝に雪害対策本部を設置し、道路除雪実施計画に基づく警戒体制に移行して、市の管理するすべての道路において除雪作業に24時間体制で総力上げて対応致しました。幹線道路から順次、生活道路までの除雪を行いました。今回のような断

続的な降雪では、幹線道路だけでなく日に数回除雪を行うことになり、結果、生活道路の除雪が遅れることになり、町内会等によるご協力が不可欠であります。今後の生活道路の除雪は行政だけでは難しいと思われる。市民の皆様のご協力、町ぐるみの除雪を推進してまいります。



**Q** 市民の声を集約するために、市役所各部担当別にアンケート調査を実施して今後の教訓としてどうか。

**A 総務部長** ● 新年度早々に「30豪雪を検証する会」を開催する予定。除雪作業中にも様々な意見が寄せられており、まずは市担当部署に寄せられた意見を集約し、検討会において今後の除雪体制に反映できるようにしたいと思います。

**Q** 市民の自助意識を高めるために、女性委員会を開催し、「女性防災リーダー育成」につなげてはどうか。

**A 総務部長** ● 町内会や自主防災組織の皆様とも話し合いながら、本市の女性防災リーダーの

育成・拡大に努めてまいります。



#### そのほかの質問項目

一、図書館利用者カードの発行できる範囲を拡大せよ

(一) 川北町にお住まいの方にも図書館利用者カードを発行してはどうか伺う。

二、学校での心肺蘇生教育の普及推進及び突然死ゼロを目指した危機管理体制の整備について

(一) 児童生徒及び教職員の現状と今後の取り組みについて伺う。

三、道路や駐車場で遊ぶ子供たちに安全な環境を提供してはどうか

(一) 東京オリンピックの種目にもなったスケートボードを楽しむ場所として公園の遊歩道など、今あるものを工夫する又は、公園内に施設を設置してはどうか伺う。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://goo.gl/GF6vF8>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。





土田 友雄 議員

## 野々市市を当たり前に語れる「野々市ブランド」を確立し、質の高い成熟したまちづくりを進めよ

二つの地域中心交流拠点施設を活用し、歴史と未来が融合する質の高いまちに磨きをかけ、誇りと愛着を持つ市民を育てていきたい

現在の生活様式に合わせた  
公共施設の施設整備をせよ

**Q** 中央公園、中央体育館などの公共施設のトイレを、温水洗浄便座へ施設整備せよ。

**A** 総務部長 ● 体育館など管理人がいるトイレについては管理が行き届いているが、屋外の24時間使える公園などのトイレは利便性が高い一方で、利用マナーが悪い例が見受けられる。また、利用者の声の中には不特定多数が使う屋外のトイレは和式でなければ困るという声も聴く。新設する際には設置等については検討していきたい。

6万人の人口が見込まれる  
市の南部にも体育館を

**Q** 地域スポーツを振興するため、健康増進、健康長寿が図られる。それに伴って市民医療費の抑制等がなされれば、その役割は大変大きい。2030年の人口6万人に向け体育館のあり方を考え、市の南部に新たに体育館を建設せよ。

**A** 市長 ● 市民が生涯にわたり健康で生き生きと生活するために、適度な運動を継続してい

くことが大切。そのためには、施設の充実のもとより、指導者や活動団体の育成を図ることが重要なことと

思っている。本市の体育施設は、コンパクトな市域の中に各種の施設が整備されており、加えて学校体育施設も学校開放事業により市民に利用されている。野々市市の13・56平方キロメートルの体育施設の密度という点では他市に劣らない内容と考える。

### 獣害対策について

**Q** 5年前にも質問したが、野々市市にも獣害があることの認識と、これからの安全対策について。

**A** 市長 ● 今年度は、本市と白山市で策定した鳥獣被害防止計画に基づき鳥獣被害対策実施隊を組織し、市職員にわな猟の狩猟免許を取得させるとともに、捕獲用の網や小型おりなどの整備を進めることで初動体制の強化を図っている。

また、市民への情報伝達については、石川県、金沢市、白山市との連携により速やかに情報を収集し、防災行政無線やほっとHOTメール、広報車の巡回等により迅速な情報提

供、注意喚起を行い、市民の安全を守るための対策に万全を尽くしている。

### 大規模火災への備えを

**Q** 大規模火災に備えて地域の把握、防衛計画、消防力の点検整備、危険性の高い地域の確認等の計画整備について問う。

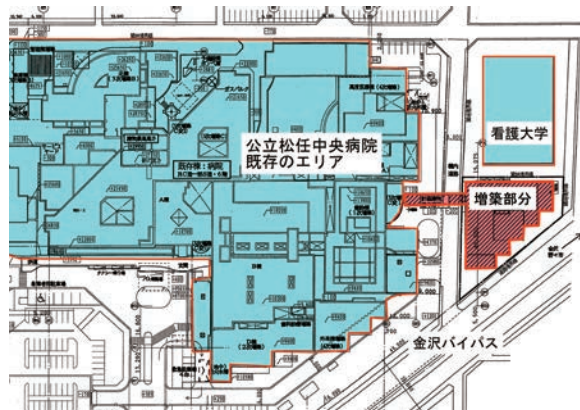
**A** 市長 ● 糸魚川市大規模火災を受け白山野々市広域消防本部において調査したところ、国土交通省が指摘するような地域が本市にも一部あることが判明した。現在、白山野々市消防本部において、その地域の火災防衛計画や消火活動の要領や、強風下における消火活動の要領などの策定に取り組んでいる。

### 大雪について所感を述べる

野々市は、太古の昔から雪国です。そのことは行政も市民もしっかり認識すべきです。除雪は、大変な時間と労力と経費が必要です。大事なことは、行政と市民間には状況の連絡が不可欠です。防災無線も活用し、行政・市民が共に理解をもって対応すべきでしょう。それが市民協働ではないでしょうか。

## 公立松任石川中央病院事業

公立松任石川中央病院  
第六次増改築工事  
平成五年に「総合健診センター」として開設以降、年々増加する受信希望者に抜本的な予約待ち解消策を図ることを目的に、第六次増改築工事を実施します。



松任石川中央病院第六次増改築工事図

## 定例会報告

3月26日に平成30年第一回白山野々市広域事務組合議会定例会が開催されました。

平成30年度一般会計36億6,392万9千円の承認と平成29年度補正予算など計6件を原案のとおり可決しました。

また、新最終処分場の工期が大雪により延伸している事などの報告がありました。



工事中の一般廃棄物最終処分場（図中囲み部分）

## 体育施設整備検討委員会

### 市民ワークショップの開催が決定

体育施設整備検討委員会では、本市の体育施設環境に関する現状と今後のあり方について調査研究活動を行っています。スポーツ活動を通じた健康で豊かな地域社会の実現に向けて、広く市民の皆様に現状の体育施設環境を認識して頂き、体育施設整備の検討の必要性を共有するために、5月17日（木）、19時より、学びの杜のいちカレイドにおいて、市民ワークショップ「どうすっけ？ ～観る・する・育てる スポーツのいち～」の開催が決定しました。市民の皆様と共に考え、開かれた議会活動に取り組みます。



「ワークショップの確認中」

## 手話言語条例作成委員会

### 手話言語条例作成委員会視察

平成30年1月に立ち上がった手話言語条例作成委員会は、議会議案条例として（仮称）野々市市手話言語条例の制定を目的としています。石川県内では、昨年3月の加賀市を皮切りに、金沢市・白山市・石川県・小松市・能美市が制定しています。野々市市では、本年9月議会定例会での制定を目指し、3月に聴覚障がい者団体の方々との意見交換会を実施し、4月には先進地である兵庫県明石市を視察しました。明石市役所では条例制定のプロセスを学び、明石市の障がい者の方々との意見交換会では条例制定前後の環境の変化を伺いました。

野々市市議会は、単に条例制定を目的とするのではなく、障がい者の方々が環境の改善を実感できる実効性のある条例制定を目指します。全ての人が、本当に住みやすいと実感できる野々市市になるための一つの要素となるような条例を作りたいと思います。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://goo.gl/S9yjC3>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



# 議会組織変更のお知らせ

◆議長 早川 彰一

◆副議長 西本 政之

◆議会選出監査委員

大東 和美

◆議会運営委員会

委員長 中村 義彦

副委員長 北村 大助

委員 馬場 弘勝・宮前 一夫・杉林 敏  
辻 信行

◆総務産業常任委員会



委員長 北村 大助

副委員長 五十川員申

委員 宮前 一夫

中村 義彦

杉林 敏

辻 信行

岩見 博

◆教育福祉常任委員会



委員長 安原 透

副委員長 尾西 雅代

委員 馬場 弘勝

西本 政之

金村 哲夫

土田 友雄

大東 和美

◆予算決算常任委員会

委員長 宮前 一夫

副委員長 杉林 敏

委員 議員全員（議長を除く）

◆白石石川医療企業団議会議員

金村 哲夫・杉林 敏・岩見 博

◆白山野々市広域事務組合議会議員

尾西 雅代・西本 政之・中村 義彦

◆石川県後期高齢者医療広域連合議会議員

早川 彰一

◆手取川水防事務組合議会議員

早川 彰一

◆議会広報委員会

委員長 宮前 一夫

副委員長 五十川員申

委員 北村 大助・安原 透・辻 信行

大東 和美・岩見 博

◆体育施設整備検討委員会

委員長 馬場 弘勝

副委員長 五十川員申

委員 北村 大助・西本 政之・中村 義彦

杉林 敏・辻 信行・早川 彰一

◆手話言語条例作成委員会

委員長 西本 政之

副委員長 五十川員申

委員 北村 大助・安原 透・大東 和美

岩見 博

## 平成30年6月定例会の日程が決まりました

▼期間 6月7日(木)～6月22日(金)16日間

▼開会 7日(木)午前10時

▼一般質問

14日(木)・15日(金)両日とも午前9時30分から

▼予算決算常任委員会

18日(月)・21日(木)両日とも午前10時から

▼総務産業常任委員会

19日(火)午前10時から

▼教育福祉常任委員会

19日(火)午後2時から

▼閉会 22日(金)午後2時から

議会傍聴に記名が不要となりました。議会は全て傍聴できます。お気軽に傍聴をお願いします。

議会だより 17号

平成30年5月発行

■発行：野々市市議会 電話(076)227-6141  
〒921-8510 石川県野々市市三納二丁目1番地  
■編集：議会広報委員会

■野々市市議会URL: <http://www.city.nonoi.lg.jp/gikai/gikaip.html>  
■Eメール: [gikai@city.nonoi.lg.jp](mailto:gikai@city.nonoi.lg.jp)



R30

印刷用紙の90%以上を再生紙を使用しています